



平成27年4月28日

各 位

上場会社名 東亜ディーケーケー株式会社  
代表者 代表取締役社長 佐々木 輝男  
(コード番号 6848)  
問合せ先責任者 取締役副社長 玉井 亨  
(TEL 03-3202-0211)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,440	1,430	1,460	950	47.90
今回修正予想(B)	14,066	1,265	1,287	759	38.29
増減額(B-A)	△374	△165	△173	△191	
増減率(%)	△2.6	△11.6	△11.8	△20.0	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	13,923	1,310	1,357	881	44.45

#### 修正の理由

当社の主たる事業の計測機器事業は、緩やかな景気回復を反映し、関連設備投資も比較的堅調に推移しました。しかし、意外な程厳しさが残り、企業間の競争激化もあり、売上高は前期比で微増に止まり、前回発表予想より減収となりました。

また、利益面においても急激な為替変動による円安が続いていることから、輸入製品販売の多額の仕入れコスト高をもたらし、加えて、中期的な合理化施策の新基幹システムの減価償却費と戦略的海外市場開拓活動費などの経費も重なり、営業利益・経常利益と当期純利益のいずれも減益となりました。併せて、平成27年度税制改正に伴う繰延税金資産の取崩しも影響しましたが、前期に賃貸ビルの解約により減収となった不動産賃貸事業の業績回復があり、一定の利益を確保したものの、前回発表予想利益に至らない見通しとなりました。

従いまして、平成26年5月8日に開示した連結業績予想の達成は難しいとの判断に至り、修正することいたしました。

なお、配当金予想(年11円)の変更予定はありません。

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上